

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2015-144838(P2015-144838A)

【公開日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-051

【出願番号】特願2015-51719(P2015-51719)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月11日(2015.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

打球発射装置により発射されて遊技盤に区画形成される遊技領域を流下する遊技球を受け入れることができる複数の受入口が遊技領域の所定位置にそれぞれ配置されるパチンコ遊技機であって、

矩形箱状を有し、当該矩形箱状の一の検出側面に対して水平方向と比べて垂直方向に感度が高い指向性を有する第 1 の検出領域内における磁気を検出するとともに、該一の検出側面と反対側の他の検出側面に対して水平方向と比べて垂直方向に感度が高い指向性を有する第 2 の検出領域内における磁気を検出する磁気検出手段と、

該磁気検出手段が前記第 1 の検出領域内における磁気と前記第 2 の検出領域内における磁気とを検出した旨を伝える磁気検出信号が入力される入力回路を有する制御基板と、

前記制御基板に前記磁気検出信号が入力されることに基づいて、音または光による異常報知を実行可能な異常報知実行手段と、を備え、

前記磁気検出手段は、前記複数の受入口のうち第 1 の特定受入口が前記第 1 の検出領域内に入る位置となるように、かつ、前記複数の受入口のうち前記第 1 の特定受入口が配置される位置と異なる位置に配置される第 2 の特定受入口が前記第 2 の検出領域内に入る位置となるように、前記遊技盤の所定位置に配置され、前記第 1 の特定受入口に近づく磁石と、前記第 2 の特定受入口に近づく磁石と、をそれぞれ検出して前記磁気検出信号を前記制御基板の入力回路に出力し、

前記制御基板と前記磁気検出手段とを電氣的に接続するための配線に断線又は該配線が外れているときには、当該制御基板の入力回路に前記磁気検出信号が入力されているときの論理状態が維持されるように当該制御基板の入力回路が構成されており、

前記異常報知実行手段は、前記磁気検出手段によって磁気を検出した領域が前記第 1 の検出領域と前記第 2 の検出領域とのいずれであるかにかかわらず同様の前記異常報知を実行可能であることを特徴とするパチンコ遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、パチンコ遊技機に関するものである。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

従来より、始動口へ遊技球が受入れられる（始動入賞する）と遊技盤の中央に設けられた中央表示装置（表示装置）の液晶表示ディスプレイにおいて複数種類の識別情報としての図柄を複数変動表示するとともに、これらの図柄を順次停止表示して同一図柄が揃うと大当たりとなるパチンコ機（パチンコ遊技機）が提案されている（例えば、特許文献 1、2）。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

上記特許文献 1、2 に記載されるパチンコ機においては、ガラス表面に磁石を当てて流下する遊技球を受け止めて、ある程度の大きさを有する「ぶどう状」に集まった状態に形成した後にその磁石を離すことによって、遊技球の始動口に入球する確率を高めるという不正行為（いわゆる、「磁石ゴト」）が行われるおそれがあった。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、磁石ゴトによる不正行為を検出することができるパチンコ遊技機を提供することにある。

【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

（解決手段 1）

打球発射装置により発射されて遊技盤に区画形成される遊技領域を流下する遊技球を受け入れることができる複数の受入口が遊技領域の所定位置にそれぞれ配置されるパチンコ遊技機であって、矩形箱状を有し、当該矩形箱状の一の検出側面に対して水平方向と比べて垂直方向に感度が強い指向性を有する第 1 の検出領域内における磁気を検出するとともに、該一の検出側面と反対側の他の検出側面に対して水平方向と比べて垂直方向に感度が強い指向性を有する第 2 の検出領域内における磁気を検出する磁気検出手段と、該磁気検出手段が前記第 1 の検出領域内における磁気と前記第 2 の検出領域内における磁気とを検

出した旨を伝える磁気検出信号が入力される入力回路を有する制御基板と、前記制御基板に前記磁気検出信号が入力されることに基づいて、音または光による異常報知を実行可能な異常報知実行手段と、を備え、前記磁気検出手段は、前記複数の受入口のうち第１の特定受入口が前記第１の検出領域内に入る位置となるように、かつ、前記複数の受入口のうち前記第１の特定受入口が配置される位置と異なる位置に配置される第２の特定受入口が前記第２の検出領域内に入る位置となるように、前記遊技盤の所定位置に配置され、前記第１の特定受入口に近づく磁石と、前記第２の特定受入口に近づく磁石と、をそれぞれ検出して前記磁気検出信号を前記制御基板の入力回路に出力し、前記制御基板と前記磁気検出手段とを電氣的に接続するための配線に断線又は該配線が外れているときには、当該制御基板の入力回路に前記磁気検出信号が入力されているときの論理状態が維持されるように当該制御基板の入力回路が構成されており、前記異常報知実行手段は、前記磁気検出手段によって磁気を検出した領域が前記第１の検出領域と前記第２の検出領域とのいずれであるかにかかわらず同様の前記異常報知を実行可能であることを特徴とするパチンコ遊技機。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明のパチンコ遊技機においては、磁石ゴトによる不正行為を検出することができる

。